

「中野島」見て、歩きコース

阿南健康第3番完歩

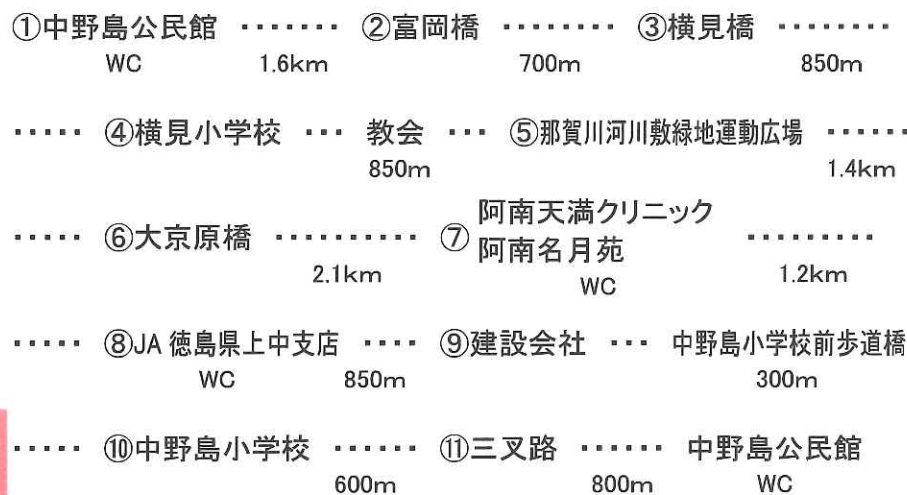
中野島公民館の道

中野島公民館
柳島町中川原10
TEL(0884)22-1669



「中野島」見て、歩きコース

阿南健康第3番完歩 中野島公民館の道



●**那賀川の名** 加茂谷から大野、中野島に沿って流れる那賀川はもと「長川」と書かれていた。西暦 645 年の大化改新前までは、那賀川を中心とする地域には「長（なが）の国」があり、事代主命の子孫韓背足尼（からせのすくね）が国造として支配していたところから「長川」の名が生まれたと考えられる。大化改新後、長国は吉野川流域にあった栗国（あわのくに）と合併し、713（和銅 6）年には、阿波国那賀郡と改名されることになり、「長川」も「那賀川」と名称を変更された。

●**阿南工業用水** 阿南工業用水道は、阿南市地区の工業用水の需要に応じるため、昭和 43 年 2 月に建設工事に着手し、昭和 45 年 4 月に 46,500 m³/日の給水施設が完成、同月から給水を開始した。給水方法は、那賀川の河床に埋設した集水管により取水した伏流水を、山腹の配水池トンネルへ揚水し、自然流下により各企業へ送る方法である。また、給水量増加のため、3 号ポンプを増設し、平成 8 年度に給水能力 93,000 m³/日の施設となった。

●**乙（おと）堰跡** 那賀川橋の下流側に位置する乙堰は、1886（明治 19）年、竹原堰水利組合と分離して乙堰水利組合を創設し、歴代村長が組合管理者となっていた。大きさは 165 町歩（165ha）で、大字中原向原に引水口を設け、柳島を横断する用水路を掘って灌漑していたが、那賀川の増水のたびに決壊し、引水路も降雨ごとに埋没した。その当時の苦難は横見小学校横の記念碑に記されている。

●**岡古墳・岡城跡** 上中町岡の王子神社には昔、円墳があったと伝えられる。出土品には川原石、佐古石、土器の破片などがある。この岡は那賀川の洪水のたびに積み重なった川の堆積土によって造られたと言われる。その後、岡山に築かれた砦が「岡城」であり、主将岡基之丞は、1582（天正 10）年 8 月、中富川の合戦で討死した。

●**岡の一里松跡** 1604（慶長 9）年、全国に一里塚（1 里＝約 4km）が築かれた。阿波の一里松は 1646（正保 3）年に編纂された「阿波国十三郡古図」には五街道を示す線の両側に示されている。土佐街道は徳島—阿南—高知を結ぶ街道の一つである。一里松は切り倒されたり、枯れたりしたため、現在、その所在地は定かでないが、地名や屋号が各地に残っている。

●**鷹飼いの松** 現在の中野島小学校の敷地は、昔、鷹匠（鷹を飼いならす人）の屋敷であった。この屋敷の東にはそのころ松の大樹がそびえていた。この松は、周囲 3 丈（約 9m）、高さ 30 余間（約 55m）もあって、遠くから眺められた。ある時、不思議にもこの老松に見事な花が咲いて、それを見ようと方々から、たくさんの人々が弁当を持って集まってきたという。江戸時代、上中町岡の辺りはお留野（とめの）といって、藩主が鷹狩りを行う場所であった。